

事務所概要

○事務所名称

栃木県小山環境管理事務所

○所在地

〒323-0811 栃木県小山市犬塚3丁目1番1号（栃木県小山庁舎3階）

○組織

所長－所長補佐（総括）兼環境対策課長－業務担当者（9名）・廃棄物対策事務員（1名）

○発足年月日

平成20（2008）年4月1日

地球温暖化対策などの幅広い環境問題に多角的に取り組むとともに、「とちぎの元気な森づくり県民税」事業が円滑に実施できるよう、平成20（2008）年4月に環境森林部出先機関の組織改編がなされ、県西、県東、県北、県南の各地区に環境森林事務所が発足しました。

小山環境管理事務所は、県南環境森林事務所の区域のうち、栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町（3市6町）の区域における環境行政を管轄する事務所として誕生しました。

平成22（2010）年3月29日、旧栃木市、大平町、藤岡町、都賀町の新設合併により、新栃木市が誕生となり、その後、西方町が平成23（2011）年10月1日に、岩舟町が平成26（2014）年4月5日に新栃木市に合併し、現在は栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町（3市2町）の区域を管轄しています。



○所管区域の概要

当事務所の所管区域は、栃木県の北西部山岳地帯と北東部の八溝山地に挟まれる形で南に開けた中央平野部の南端に位置し、茨城県筑西市、結城市、古河市及び群馬県邑楽郡板倉町、埼玉県加須市に隣接しています。

区域面積は669.17km²で県全体の10.4%（令和6（2026）年10月1日現在）を占めており、平坦な農業地域が広がっています。

中央には足尾山地に源を発する思川が、黒川や姿川を合流させながら南流し、また、西部では野川や巴波川が流れ、これらの河川は渡良瀬遊水池で渡良瀬川に注いでいます。

一方、東部では、西仁連川が茨城県との県境の一部を描きながら南流し利根川へ、また、田川が茨城県に入り、間もなく鬼怒川へ合流しています。

首都東京からは概ね90km圏内に位置し、南北には東北新幹線、JR宇都宮線、東武日光線・宇都宮線や東北自動車道、国道4号、新4号国道が、東西にはJR両毛線・水戸線や北関東自動車道、国道50号が走るなど、交通網が整備され、県人口の23.2%（令和6（2026）年6月1日現在）を占めています。

巴波川、思川の舟運や旧街道沿いの宿場として栄えた昔からの街並みが見られる一方で、鉄道や主要道沿いには、新興住宅地や工場の立地が進んでいます。



思川の桜



巴波川の鯉のぼり



渡良瀬遊水池

管内3市2町における事業所数（全産業）は、16,668所で県全体の約21.7%（平成28（2016）年6月1日現在）を占めています。

また、管内3市2町の製造業を営む事業所数は、894所で県全体の22.9%（令和3（2021）年6月1日現在）、製造品出荷額（従業者4人以上の事業所）は、23,513億円で県全体の28.6%（令和2（2020）年度実績）を占めており、経済活動が盛んな地域です。